

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2021年2月462号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

世界病者の日 (ルルドの聖母)

主任司祭 内藤 聡

毎年、2月11日は「世界病者の日」として聖ヨハネ・パウロ二世によって1993年から始まりました。この日は「ルルドの聖母の記念日」にあたります。

世界病者の日は、病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な援助を得られるように、カトリックの医療関係者だけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。『カトリック教会情報ハンドブック』

またルルドの聖母は1858年2月11日に、フランスのルルド近郊のマッサビエールの洞窟で、無原罪の聖母がベルナデッタに初めて現れました。ベルナデッタへの一連のマリア出現は、教会当局によって神聖なものとして承認され、ルルドが国際的な巡礼地になりました。（『毎日の読書』、『毎日のミサ』より）

そして毎年「世界病者の日」には、教皇メッセージが発表されます。

今年のメッセージのテーマは、「あなたがたの師は一人だけで、あとは皆兄弟なのだ」です（マタイ 23,8）。教皇様はこのメッセージで、特に貧しい人々をはじめ、新型コロナウイルスによるパンデミックに苦しむすべての人々に思いを向けています。

そして、兄弟愛に動かされ、弱い立場の人々を思いやることのできる社会こそが人間的な社会であるとし、健康を優先すべき共通善として示しながら、医療支援の大切さを呼びかけています。

教皇様は、言葉だけで実行の伴わない偽善に注意を促し、誰一人疎外され見捨てられたと感じることのないように、病者との絆を築くよう願われました。

もちろんコロナウイルスだけでなく多くの人が色々な病気を抱えています。その中で教会は、そうした世界中で、「病に苦しむ人々がふさわしい援助を受けられますように、また、苦しんでいる人々が自らの苦しみの意味を受け留めていくための必要な助けを得ることができますように」と祈り、そして、私たちがその人たちのために、行動を起こすことが問われています。

灰の水曜日

クリスティーナ 佐藤八重子

復活祭の準備の期間は四旬節といわれ、復活祭の46日前にあたる灰の水曜日から始まります。(今年は2月17日) その日にはイエスの十字架の死と苦難を記念し、額に灰の十字架の刻印をいただきます。その印は復活祭に向けて、準備をする「ヨーイ・ドン」の印のようです。四旬節の間、洗礼志願者は最終的な準備をし、すべての信者が祈りと犠牲の愛の行いをします。灰の主日の日にはA～C年共通して、新訳聖書マタイ6：1～6, 16～18が朗読されますが、どのような準備をどのような心を持ってすべきなのかは、イエスのみ言葉をお聞きしたいと思います。

マタイ6：3～4「あなたが、施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。これは、あなたの施しを隠しておくためである。そうすれば、隠れたことをごらんになるあなたの父は、報いてくださるだろう。」

マタイ6：6「あなたがたは祈るとき、奥のへやに入って戸をしめ、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた行いをごらんになるあなたの父は、報いてくださるだろう。」

マタイ6：17～18「断食をするときは、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。それは断食していることを、人々には知られないで、隠れた所においてになるあなたの父にだけ知っていただくためである。隠れた所で見ておられるあなたの父は、報いてくださるだろう。」

善行にあたって、イエスが繰り返し、述べられます。「隠れた所においてになるあなたの父」と、それは私たちと神との関わりを示し、その上で「隠れた所で見ておられるあなたの父は報いて下さるだろう」と話されます。私たちの人には知られない小さな善行であっても、御父は想像もできない程のみ業にして、報いて下さっておられるのではないのでしょうか。神に感謝!

2月17日(水) 10時からミサがあります。そのミサの中で「灰の式」が行われます。「灰の式」とは、「土から出て土に帰っていく私たちが、四旬節の務めに励み、罪の赦しを受けて、新しい命を得、復活された御子の姿にあやかることができますように」と願って、去年の枝の主日に祝福して頂いた棕櫚の枝を燃やした灰を「回心して福音を信じなさい」と言いながら、一人一人の額にかける式です。以前は日曜日にも行われましたが、ここ数年は、この灰の水曜日の日にしか行われません。

また、この灰の水曜日には、大齋・小齋を守る事になっています。

大齋・・・1日1回だけ十分な食事を取る。

小齋・・・鳥獣の肉を控える。

なお幼児や高齢者、妊婦や病人は、免除されています。

(典礼係 東海林)



教会委員会記録

1月10日

20名参加

1. 1月～2月の典礼について・・・2月は「こよみ」4ページ参照
2. 新型コロナウイルスの感染症対策におけるミサについて（改訂追加事項）

今までは「教会近隣地域で感染が確認された時」、あるいは「近隣でクラスターが起こった時」としていたが、感染の状況が変わってきている。今一度、富士吉田教会においてのミサ中止の基準の見直しをする。

 - ・行政による緊急事態宣言の発令
 - ・北麓地域クラスター発生
 - ・地域市町村の発生状況において警報発令や学校休校等が行われた時

以上の事が発生した場合は、ミサ中止とする。
3. 2021年度新体制について
 - ・各役員は継続となる。
4. その他
 - ・「富士五湖ダルクを支援する会」福永さんから、年末年始にかけて富士五湖ダルクさんに大勢の方々からお米の支援をして頂いたことへのお礼があった。続けて安価でお米を買い取る所を探しておられるとのこと。紹介してくださる方は、チームの福永さん、小松さん、小山田さんに申し出てほしい。

お知らせ

* クリスマス献金について

コロナ禍の中、ミサも中止となる日もあった待降節でしたが、

合計104,000円（うち日曜学校より5,594円）



もの皆様の尊いお気持ちをいただきました。

お知らせの通り、NPO法人「Be-Happy」と「富士五湖ダルク」の2団体に寄付させていただきました、地域の絆を深めて参りたいと思います。

これからも様々な団体、家庭で厳しい状況が続くことが懸念されますが、助け合って、少しでも良好な日々が過ごせるように頑張ってみましょう。ご協力ありがとうございました！

* 四旬節献金について

2月17日（水）より四旬節が始まります。

四旬節の期間には、愛のわざの行いの一つとして「四旬節献金」が行われます。神様へ心を開ける回心の日々を続け、皆で良い復活祭を迎えることができますように・・・

「四旬節」献金にご協力お願いいたします。

こよみ



2021年2月

- 2日 (火) 主の奉献 (祝日)
- 5日 (金) 日本26聖人殉教者 (祝日) 初金曜日 ロザリオ10時ミサ10:30
- 7日 (日) 年間第5主日 ミサ9:30 教会委員会
- 9日 (火) 聖書を読もう 10:00
- 10日 (水) 手芸会 9:30
- 13日 (土) 聖書を読もう 13:30
- 14日 (日) 年間第6主日 子供と共に捧げるミサ9:30
山梨地区宣教司牧役員会14時 甲府教会
(聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
- 17日 (水) 灰の水曜日 ミサ10:00 (大齋・小齋)
- 21日 (日) 四旬節第1主日 十字架の道行9:00 ミサ9:30
(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 22日 (月) 聖ペトロ使徒座 (祝日)
- 23日 (火) 聖書を読もう 10:00
- 27日 (土) 聖書を読もう 13:30
- 28日 (日) 四旬節第2主日 十字架の道行9:00ミサ9:30 (聖堂掃除は吉田地区)
山梨地区宣教司牧委員会14時 甲府教会

 イタリア語教室 月曜10時 1日・8日・15日・22日
 日曜学校 ミサ後 14日・21日・28日

3月

- 5日 (金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
 - 7日 (日) 四旬節第3主日 十字架の道行9:00 ミサ9:30 教会委員会
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。
 変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします。

2月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
7	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	宮本禮子	志村
14	東海林美佐子	東海林義夫	弘貴	小山田匡宏	曾根美香	江守
21	江守香代子	栗原今朝夫	一雄	宮本二郎	小松二三子	東海林
28	東海林美佐子	山本一孝	一雄	志村好直	猪俣瞳子	宮本